

ことばを変えると広がる世界

『クラスター感染』、『都市のロックダウン』などなど。新型コロナウイルスの感染拡大により、テレビのニュースで毎日、イヤと言うほど聞かされた英語由来のカタカナ語です。「クラスターは集団、ロックダウンは封鎖」で良いと思いますがいかがですか。今回のウイルス感染対策にあたっては、専門家集団によれば、日本語にすると誤解を与えかねないと懸念から英語風カタカナ表記を使ったとの報道がありました。だが、どうなんでしょうか。一方、英語風のほうがオシャレで受け入れやすい場合、それもアリでしょう。例えば、『外出禁止』よりも『ステイホーム』の方が負担感がちよつと減るように思います。好き嫌いは別として、言葉の選択に工夫が感じられます。

外国の言葉を日本語に変えるのは単純な交換作業ではありません。微妙なズレもよく生じます。仏教の基本に苦しみの『苦』という言葉があります。生老病死の四つの『苦』などとお聞きになったこともあるかもしれません。インド地域発祥の仏教。原典パーリ語仏教経典に出てくる『ドゥツカ』を昔の中国人仏教者は『苦』と漢字に変えました。現在、『ドゥツカ』は『苦』なり」は当たり前のように日本にも定着しています。数年前、ある先生が、『ドゥツカ』を『苦』と訳したことが位置づけられていることを考えると、取りかえしのつかない誤訳ではないか。『ドゥツカ』とは本当は、『思い通りにならないこと』としたほうがいいのでは」と大胆に指摘されま



仏の道に入る儀式

した。ビックリすると同時に、なるほどと思わず膝をたたいてしまいました。さらに、「生まれてくること、老いること、病むこと、死ぬこと、すべて自分の思い通りにならないものです。だからといって、それが不幸なことだと言えるでしょうか」と私に問いかけられました。

仏教のゴール『苦からの解脱』。なんか雲をつかむような感じですが、『思い通りにならない世の中で、それを受け入れながらも生き生きと生きる』となると、私たちにもたどり着けそうな気がします。もちろん、「言うは易く行う難し」ですが、日本の仏教が「行うは難し言うことすら難し」のために、仏教が縁遠い存在になっているのではないのでしょうか。ご批判はあるでしょうが、仏教に関する言葉を疑い、身近な言葉に変えることで、より多くの人がお釈迦様の智慧に関心をもつことができるのではないかと私は考えます。

『仏道修行』は一般の人にとっては、身近なものとは思われていません。しかし、今回の新型コロナウイルス感染のたゆめ思い通りにならないことばかりでイヤになります。そんな中でも、明るく日々を過ごそうと努力することは、意外や意外、『仏道修行』に近いものかもしれませんよ。

(住職記)

令和元年夏以降 おもな行事 報告

令和元年

- ① 8月8日（木） こころの元気塾 （講師：鷹巣 純 先生）



お集まりのみなさん



本堂を暗くして地獄の説明をされる鷹巣先生

愛知教育大学の鷹巣純先生に『地獄の魅力』についてお話しいただきました。早朝6時よりのスタートでしたが、40名ほどの中田町住民の方々にお集まりいただき、充実した会となりました。

- ② 11月17日（日） 萬國寺報恩講 厳修



報恩講の準備



住職挨拶



報恩講 みんなで正信偈



お斎の様子 その1



お斎の様子 その2



感動と笑いの法話 和田真雄先生

本年度も、50名ほどの皆様にご参詣いただき、また尊い浄財を御志納いただきましたことを心より感謝申し上げます。萬國寺総代のみなさまの協力でご本堂が新しくなって2度目の萬國寺報恩講ですが、つつがなく厳かに執り行うことができました。

- ③ 11月25日～26日 本山団体参拝 ④ 令和元年12月31日 除夜の鐘撞き



本山報恩講 本堂前での記念撮影



除夜の鐘撞き その1



除夜の鐘撞き その2

③ 高岡組門徒会主催 本山団体 参拝と研修（一泊二日 富山県五箇山など）に萬國寺関係御門徒5名の参加をいただきました。荘厳な本山報恩講のお参りと北陸山代温泉を楽しんで

いただきました。また、合掌造りの世界遺産五箇山の真宗ゆかりの寺院などを訪れました。天気にも恵まれ、充実した二日間でした。

④ 責任役員の神谷様をはじめ萬國寺総代さんのご協力で、昨年末も、除夜の鐘撞きが行われました。振る舞い酒やおでんのサービスもあり、昨年より多くの方に足を運んでいただきました。除夜の鐘撞きが、地域の方々にとって季節の風物詩として定着していくことを願っています。

⑤みどり会主催 物故者追弔会

中田町みどり会主催の物故者追弔会が2月18日に執り行われました。この1年に4名の方がお亡くなりになりました。故人の遺徳を偲び、大勢の方におまいりいただきました。



遺影とお供え



お参りの方々

⑥ 7月18日（土） 萬國寺 祠堂法要



受付での検温とアルコール消毒



イスの間隔を開けての法要



天野先生の法話 シールド着用



お斎はお持ち帰りの弁当に変更

今般の新型コロナウイルスの影響で、延期しておりました年一回の祠堂法要を、安全と健康を重視しながら7月18日に行いました。30名ほどの方にお参りいただきました。なお、祠堂法要とは亡き人の供養のお経を永代にわたって勤めて欲しいとの施主様の願いより行っている法要です。ご志納金額の規定はありませんが、10万円以上を参考にさせていただければ有り難いです。

【ご報告】

和令元年度、萬國寺から本山への
寄付金（割当金）
¥407,400

・令和元年度もおかげさまで完納することができました。また、例年、一部は、院号申請（8万円）・本山納骨（12万円）を充てております。昨年度は、神谷幸雄様、牧野直人（萬國寺住職）より本山納骨の御依頼、ならびに近藤正直様・近藤武志様から院号申請の御依頼がありました。心より感謝申し上げます。

令和元年度
祠堂金を御志納
いただいた方
・近藤剛治様
故 近藤鐘一様
【成願院釋慧達】
永代供養として

◇◇◇◇◇
昨年度
娑婆の縁つきて
九月 近藤さん様 90
三月 近藤八千代様 79
四月 近藤 明様 90

令和2年度 萬國寺 役員一覧 (敬称略)

【住職代務者】 牧野 直人

【責任役員 総代】

責任役員 神谷 幸雄 (世話役) 近藤 俊弘

総代 近藤 博夫 鈴木 孝則

近藤 正直 近藤 正宏

総代補佐 柴田 鈺弘 (浄教寺)

林 正幸 (萬福寺)

永井 智志 (西来寺)

門徒会役員 永井 みどり 小山 敏子

神谷 美詠子

監査役 柴田 勝則 永井 銀幸



総代会 会議の様子



萬國寺 庭

萬國寺 令和2年度 予定・報告 *変更もあり

彼岸寄席 (3月)、こころの元気塾 (8月) は新型コロナウイルス感染状況を判断し中止とさせていただきます。

また、今後の予定も新型コロナウイルスの影響で中止あるいは形式を変更し実施していくこともございます。みなさまの健康と安全を第一に考え行ってまいります。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

① **報恩講** 宗祖親鸞聖人のご功績を讃え、真宗の教えを確認する最重要仏事

日時 11月15日 (日) 午前10時～午後2時ごろまで

内容 午前：法要と法話 昼 お齋 (昼食) 午後 法要と法話

講師 京都市在住 作家 和田真雄先生 協力 愛知や仏壇本舗

萬國寺にご縁のある方へは詳細をお手紙にてご案内いたします。

② **本山東本願寺報恩講団体参拝+研修**

日時 11月25日 (水) 一日 中田町 JA に集合

参加 門徒会役員様へ連絡 (定員あり) 参加費9000円

③ **除夜の鐘撞き**

日時 12月31日 夜

④ **みどり会 物故者追悼法要** 未定

⑤ **彼岸寄席 (3月)** 笑福亭仁智師匠 (上方落語協会会長) 出演交渉中

日時 令和3年3月21日 (日) 午後1時30分より

⑥ **萬國寺祠堂法要** 報恩講とならび二大法要のひとつ 永代経とも言われる

日時 令和3年5月頃 未定 10時お経開始 その後、法話と食事

萬國寺に祠堂金をお納めくださった方にご案内申し上げます。